

人文・社会科学篇

第 1 卷 (昭和 4 2 年 1 2 月)

小林定義	ペイターにおける文体の問題 (1)	1
西山 啓	集団規範と個人の態度形成について (2)	
	—事故防止に関する社会心理学的研究 II	13
久松昌範	政治意識の研究 (I)	
	—政党支持別にみた人生観の社会的性格類型について	24
<hr/>		
天野茂時	観自在菩薩 (Āryāvalokiteśvara) 像の考察	1
河野憲善	遊行二十四祖御修行記 (上)	18

第 2 卷 (昭和 4 3 年 1 2 月)

西山 啓	自動車走行時における運転者の速度感覚に関する研究 (I)	1
久松昌範	政治意識の研究 (II)	
	—過疎地域における農民の政治意識と社会的性格	18
小林定義	ペイターにおける文体の問題 (II)	28
水野信男	ユダヤ音楽研究—宗教歌の旋律型と旋法について	42
藤井文子	ソルフェージュ指導におけるエンリッチメントについての —試案 (その 1)	61
<hr/>		
河野憲善	遊行二十四祖御修行記 (中)	1
天野茂時	島根県における如来 (Tathāgata) 像の考察	11

第 3 卷 (昭和 4 5 年 2 月)

古賀精一	古事記覚書 (一) —その本文批判について	1
野津 栄	天平時代における「王義之」	11
<hr/>		
野本晃史	九州西海地区を中心とする観光客流動と その滞留地点 (1965年前後)	1
水野信男	コプト音楽の歴史	21
吉田 功	シューマンとアイヒェンドルフ —リーダークライス作品 3 9 について	29
鈴木英允	<i>Death of a Salesman</i> 批評の問題点	42
西山 啓	自動車の高速運転にともなう乗務員の心理的生理的負荷に 関する—研究—東名高速道路と一般国道との比較を中心として	49
久松昌範	政治意識の研究 (III) —過疎地域の住民の政治的行動	63
山本俊磨	態度理論における Summation 説と Balance 説の実験的研究	72

第 4 卷 (昭和 4 5 年 1 2 月)

中川政樹	「政治階級」論と民主主義の変質	1
田中瑩一	和泉式部日記の心情表現をめぐって—文体観察の一視点	11
<hr/>		
吉田 功	ヴォルフとアイヒェンドルフ I	1
小林定義	ペイターにおける文体の問題 (Ⅲ)	11
西山 啓	自動車運転による心身機能におよぼす影響—タクシー乗務員の 始業～終業時における心理諸反応の比較を中心として	25
鯨岡 峻	見ること	31
中山郁子・藤江 奏	食物の嗜好傾向と性格に関する研究 (I)	51

第 5 卷 (昭和 4 6 年 1 2 月)

小林定義	イギリス・ルネッサンス詩の憂愁 (一)	1
中川政樹	「イタリア・リソルジメント」研究の諸問題 —リソルジメントの解釈を中心として	21
<hr/>		
石野 眞	デザインに関する試論	1
中山郁子・藤江 奏	食物の嗜好傾向と性格に関する研究 (Ⅱ)	15
山田政美	トマス・キッドの文法—ING 形 (その I) (英文)	33
山本俊磨・若槻京子	協同と競争に関する実験的研究 (I) —グループ内およびグループ間の協同・競争について	65
鯨岡 峻	命名作用と図形知覚の問題	73

第 6 卷 (昭和 4 7 年 1 2 月)

北 恭昭	国立国会図書館蔵 百舌往来の字音 (I) —漢字索引および字音索引	1
古賀精一	古事記覚書 (二)	39
小林定義	郷愁の人・ペイター	45
<hr/>		
猪野郁子・藤江 奏	食物の嗜好傾向と性格に関する研究 (Ⅲ)	1
古野美那子	ズボン形態の地域的比較研究	15
大西俊江	幼児のロールシャッハ反応 (I)	25
鯨岡 峻・鯨岡和子	誘導運動に於ける経験の問題 (I)	39
水野信男	ユダヤ教会歌とグレゴリオ聖歌	55
米原 智	幼児の描画指導について	77
石野 眞	Paul Klee の “Pädagogisches Skizzenbuch” について	91

第 7 卷 (昭和 4 8 年 1 2 月)

北 恭昭	国立国会図書館蔵 百舌往來の字音 (Ⅱ) - 字音索引 (続)	1
<hr/>		
山下政俊	教授学研究の現状と課題 (Ⅰ)	1
松井 保	古典命題論理の公理に関する前公理的な問題	17
山田政美・山本 昭	日本語受動態の構造と意味 (英文)	27
野本晃史	西中国山地の観光客流動と観光客滞留拠点の地理的性格	47
水野信男	旧約聖書のエクフォネティック記号について - ユダヤ音楽研究 Ⅲ	63
吉田 功	シューマンの後期の作品-レーナウの詩による作品 9 0 について	83
藤江 奏・猪野郁子	食物の嗜好傾向と性格に関する研究 (Ⅳ)	97

第 8 卷 (昭和 4 9 年 1 2 月)

小林定義	近代文学における「永遠」の一相 - ポーとペイターとウルフをめぐる	1
<hr/>		
山本俊磨	対人魅力：類似性と関心度	1
鯨岡 峻	誘導運動と概念的枠組	5
山田政美	アメリカ英語の呼び掛け語の構造 - その社会言語学的アプローチ (英文)	15
水野信男	歌唱形態について-ユダヤ音楽 Ⅳ	25
大原豊彦	ソノグラフによる声楽発声の考察	35

第 9 卷 (昭和 5 0 年 1 2 月)

上田正行	伊東静雄論-その詩法について	1
<hr/>		
松井 保	自然数の構成に関する一考察	1
水野信男	「離散」と音楽-ユダヤ音楽研究 V	7
山田政美	英語における縮約 (英文)	15

第 10 卷 (昭和 5 1 年 1 2 月)

上田正行	『吾輩は猫である』試論	1
中川政樹	ジョリッティにおける自由主義と民主主義 (一)	19
<hr/>		
鯨岡 峻・堤 雅雄	数の比較判断とその眼球運動パターン	1
堤 雅雄	攻撃的行動と施設の現状	13
猪野郁子・藤江 奏	食物の嗜好傾向と性格に関する研究 (Ⅴ)	21

松浦道子	つめえり学生服に対するイメージに及ぼす要因について	29
山本眞一	エンゲル法則と発現状態	43
山田政美	現代英語の属格（英文）	53
銭本健二	キーツの詩と儀式的構成－「死と再生」のモチーフをめぐって	65
水野信男	コプト音楽の形態－コプト典礼とその音楽	79
吉名重美	組曲についての一考察	89

第 11 卷（昭和 5 2 年 1 2 月）

浅野裕一	堅白石－公孫龍に於ける対象認識の様相	1
<hr/>		
山田政美	現代英語の人称代名詞（英文）	1
水野信男	コプト音楽の性格－その宗教歌にみる	13
山本眞一	教育保障とその経済的基礎	23

第 12 卷（昭和 5 3 年 1 2 月）

浅野裕一	白馬と馬の間－『公孫龍子』白馬論の意味	1
<hr/>		
高山草二	語認知の諸問題－出現頻度効果と意味的文脈効果	1
堤 雅雄	青年期の自我の構造－レインの相互人格論をとおして	11
三原重行	声楽発声に関する二・三の考察	19
山本眞一	生活循環における社会保障	25
山本眞一・角登志子	施設養護における諸問題について	31
稲浪正充・西 信高・小椋たみ子・堤 雅雄・大西俊江・引野友子	学校恐怖症の心理と対策	43
小椋たみ子	幼児の構音における代置の誤りと、その改善過程の分析	55

第 13 卷（昭和 5 4 年 1 2 月）

浅野裕一	十三篇『孫子』の成立事情	1
鯨岡 峻	おとなから見た子ども	41
<hr/>		
山田政美	アメリカ英語の語法調査（英文）	1
高山草二	非計量的な多次元尺度構成法に関する検討 －対間比較法における単調性の指標と反復解法について	13
小椋たみ子・井原千歳	ハンディキャップをもった子どもの身体イメージの特性－肢体 不自由児，病弱児，聴覚障害児の人物画と樹木画を通して	21

第 14 卷（昭和 5 5 年 1 2 月）

浅野裕一	道家思想の起源と系譜（上）－黄老道の成立を中心として	1
銭本健二	W.B.イェイツ論（I）－記憶の詩法	39

田中瑩一	北京における子供の伝承遊び	1
多々納道子	学生服に対する教師の態度	27
山田政美	口語英語における省略の文法 (英文)	33
小椋たみ子	精神薄弱児の行動特性とタッピング作業についての分析	45
小椋たみ子・西	信高・稲浪正充 障害児をもつ母親の心的ストレスに関する研究 (Ⅱ)	57

第 15 卷 (昭和 56 年 12 月)

北 恭昭	国立国会図書館蔵 百舌往來の和訓	1
田中瑩一	宮沢賢治の「花鳥童話」諸作品に見られる主題の構造と展開	35
浅野裕一	道家思想の起源と系譜 (下) - 黄老道の成立を中心として	61
鯨岡 峻	おとなから見た子ども (Ⅱ)	107

齊藤重徳	三段跳の学習における一研究	1
山本眞一	明治初期の家計補助的女子賃金	7
山田政美	英語の間投詞の語法 (英文)	13
稲浪正充・西	信高・小椋たみ子・大西俊江 英語圏における障害児の親をめぐる今日の問題 - その文献的展望	27
堤 雅雄	青年期における自己対象化と存在論的危機	43
高山草二	漢字の語彙判断に関する検討	55

第 16 卷 (昭和 57 年 12 月)

浅野裕一	道法を生ず - 道法思想の展開	1
中川政樹	クローチェの史的唯物論解釈	33

華園聰麿	カントの道徳的宗教について	1
山本眞一	ライフサイクルにおける女子賃金 [Ⅰ]	25
山田政美	アメリカ英語のカレッジ・スラング (英文)	35
稲浪正充・藤田正一・内田祥治	島根県の小学校精神薄弱児特殊学級の実態について	47
小椋たみ子・大西俊江	一吃音児の遊戯治療過程の研究	55
大西俊江・小椋たみ子	一吃音児の母親面接過程の研究	71
鯨岡 峻	母子関係の諸相 (1)	89
高山草二	読みにおける意味的文脈効果： カテゴリー・事例関係による一検討	107

第 17 卷 (昭和 58 年 12 月)

浅野裕一	秦帝国の法治主義 - 皇帝と法術	1
銭本健二	W.B. イェイツ論 (Ⅱ) - 仮面の詩法 (i)	47

堤 雅雄	羞恥論への予備的考察	1
稲浪正充・楠 仁子・小椋たみ子	養護学校児童と適応行動尺度	9
野本晃史・大矢幸雄	地方都市における大規模小売店舗（大型店）の成立と都市構造の変容	21
山本真一	ライフ・サイクルにおける女子賃金〔Ⅱ〕	33
山田政美	ののしり語（epithets）の文法	41
吉名重美	鍵盤楽器における変奏技法の展開についての一考察	49
	－Ⅰ. フィッツウィリアム・ヴァージナルブックの場合	49
島畑 斉	『ソナタ・アルバム』に関する一考察	65

第 18 卷（昭和59年12月）

中川政樹	クローチェのマルクス主義批判	1
銭本健二	W.B.イェイツ論（Ⅲ）－仮面の詩法（ii）	23
浅野裕一	秦の皇帝観と漢の皇帝観－「秦漢帝国論」批判	51
呉羽 長	『源氏物語』『関屋』巻の空蟬の造型をめぐる小考	97

高山草二	読書時間の諸成分と文脈効果－個人差を通しての予備的分析	1
山田政美	現代アメリカ英語の人称代名詞	9
三原重行	声楽発声に関する二・三の考察，第2	21
小椋たみ子	初期言語発達と認知発達の関係	27

第 19 卷（昭和60年12月）

中山正吉	スポーツの構造－その制度的側面	1
猪野郁子・荊尾千恵子	性役割について（Ⅰ）	15
小椋たみ子	初期言語発達に関する研究－原言語から言語へ	25
稲浪正充・高山草二・小椋たみ子・西 信高・大西俊江・楠 仁子	障害児を養育する親のストレスの比較文化的研究（英文）	51
山本俊麿	順社会行動：「いじめ」への援助に関する心理学的研究	69
鯨岡 峻	発達臨床心理学の諸問題（その1）	87
高山草二	クラスター分析による読書過程の研究	101
堤 雅雄	見ることと見られること－異性の接近事態における一実験	107
山田政美・田中芳文	アメリカ英語におけるインヴィテーション表現の様態	113
天野宏英	現観莊嚴論釈の梵文写本（2）	123

浅野裕一	帛書「五行篇」の思想史的位置－儒家による天への接近	1
呉羽 長	川端康成「浮舟」論	57
銭本健二	W.B.イェイツ論（Ⅳ）－神話の語学（i）	69

第 20 卷 (昭和 6 1 年 1 2 月)

堤 雅雄	はずかしがりやであること—青年期の自我の—様相として	1
高山草二	作業記憶と読書過程	7
大西俊江	心身症児 (慢性尋麻疹) の母親に対する並行母親面接に 関する一考察	15
鯨岡 峻	発達臨床心理学の諸問題 (その 2)	25
山田政美・田中芳文	アメリカ英語における謝罪の表現	47
野本晃史	第二次大戦後における山陰の観光現象とその変化	55
天野宏英	現観荘嚴論釈の梵文写本 (3)	67
山本眞一	女子労働者と男女雇用機会均等法	87
猪野郁子・荊尾千恵子	性役割について (II) —両親の認知	93
小椋たみ子	縦断観察による初期言語発達と認知発達の関係	101
稲浪正充・小椋たみ子・西 信高・大西俊江・高山草二	健常児の親の養育態度: われわれの QRS 簡易型 による調査 (英文)	117

三保忠夫	『雲州往来』享禄本 語彙表 (上)	1
呉羽 長	後鳥羽院在隠岐詠歌伝説の構造	25
浅野裕一	普遍者たち—『公孫龍子』通変論の立場	39
銭本健二	W.B. イェイツ論 (V) —神話の詩法 (ii)	57
中川政樹	クローチェにおける政治と道徳	67

第 21 卷 (昭和 6 2 年 1 2 月)

山本俊麿	大学生活における自己評価維持	1
堤 雅雄	人格の二重性の諸相—羞恥心性と対人不安心性を中心として	21
高山草二	理解の文脈依存性と作業記憶	29
天野宏英	現観荘嚴論釈の梵文写本 (4)	39
島畑 齊	J.S. バッハのインヴェンション—運指法についての考察	53
石野 眞	作品「スイス便り」制作考	67
中山正吉	ゴールデン・プランとスポーツ・カウンシル	73
猪野郁子	幼児の嗜好飲料, 菓子の飲食状況	87
山本眞一	産業の空洞化と生活経済の諸問題	93
小椋たみ子	自閉児の縦断観察による言語・認識・社会性の関係 (英文)	99

木村東吉	『春と修羅』第二集 私註と考察その二「薙露青」	1
三保忠夫	色葉字類抄量字門語彙についての試論 —「鬪乱部」語彙の場合 (続)	13

第22卷—第1号 (昭和 6 3 年 1 0 月)

三浦 清・内田律夫

	松江市西川津遺跡から出土した分銅形土製品に含まれるクローム鉄鉱とその考古学的意義	1
吉名重美	ピアノ教則本についての考察 I －バルトークとレショフスキーのピアノメソードについて	7
藤江 奏	嗜好度判定のための食品分類化	17
鯨岡 峻	初期母子関係の発達と愛着の問題	27
堤 雅雄	色彩選好性と色彩語選好性	45
高山草二	学習とコンピュータ(2) －コンピュータ教育に対する態度の一検討	53
稲浪正充・小椋たみ子・西 信高・大西俊江・高山草二	4QRS簡易型の検討－われわれの簡易型とQRS-SF, QRS-F, QRS-SFAの比較	61

木村東吉	『春と修羅』第二集 私註と考察(その三) 〔北上川は熒気をながしィ〕	1
三保忠夫	新撰字鏡小論	13
道重哲男	福山藩天明一揆と「西備遠藤実記」	29

第22巻－第2号（昭和63年12月）

山田政美・田中芳文	英語日常語彙の社会言語学的研究	1
天野宏英	現観莊嚴論釈の梵文写本(5)	9
三浦 清・渡辺貞幸	島根県玉湯町花仙山産碧玉の性質 －遺跡から出土する碧玉の原産地同定をめぐる	27
吉田 功	F. シューベルトの美しき水車小屋の娘 作品25 －演奏に関する諸問題	33
石野 眞	「アートかデザインか」についての考察	43
中山正吉	現代日本の地域スポーツ振興政策	51
稲浪正充・西 信高・小椋たみ子・大西俊江・高山草二	英語圏における障害児の親をめぐる問題－その文献展望II	79
小椋たみ子	初期言語インベントリー作成の試み	99
松井 保	意識化に関する一考察(その1)	113
堤 雅雄	自己不安への一接近－Higginsの自己差異理論を通して	127
大西俊江	吃音幼児と母親との母子相互関係の変容過程	133

中川政樹	モスカ＝パレット論争をめぐる	1
銭本健二	W.B. イェイツ論と歴史の詩学	17
木村東吉	『春と修羅』第二集 私註と考察(その四) 「一八四 春」	29
三保忠夫	『雲州往来』亨禄本語彙表(下)	37
福田景道	『大鏡』の編年史的側面－『栄花物語』の克服と追認	61
湯浅邦弘	中国古代の夢と占夢	77

第23巻－第1号（平成元年7月）

天野宏英	現観莊嚴論釈の梵文写本（6）	1
小椋たみ子	ダウン症児における事物操作と言語及び両者の 関係についての一研究	9
山本俊麿	いじめの対人認知	21
高山草二	最近5年間のコンピュータに対する態度の変化	31
<hr/>		
中川政樹	政治参加と投票行動－島根県における高い投票率をめぐって	1
木村東吉	『春と修羅』第三集「煙」に関する私註と考察 －煉瓦工場によせる心象を中心に	21
三保忠夫	古文書における助数詞（一）	33

第23巻－第2号（平成元年12月）

藤江 奏	食習慣と性格特性との関連	1
猪野郁子・多田 學・福沢陽一郎・岡崎美代子	赤ちゃんイメージ（I）	13
堤 雅雄	羞恥傾性と自己意識－後期青年期における一検証	19
大西俊江	青年期危機に関する臨床心理学的考察－二人の少女の事例から	29
山田政美・田中芳文	英語日常語の意味と文化	35
井上永幸	最近の学習和英辞典の傾向と今後の課題 －実用的和英辞典へ向けて	43
<hr/>		
木村東吉	宮沢賢治「花鳥図譜」構想について	1
三保忠夫	古文書における助数詞（二）	19
福田景道	『大鏡』における藤原道長の理想性・序説 －栄華の相対的評価をめぐって	29
湯浅邦弘	「称」の思想－馬王堆帛『称』に於ける天道と統治原理	45

第24巻－第1号（平成2年7月）

三浦 清	古窯跡とその周辺出土の須恵器	1
三浦 清・岡崎雄二郎・庄司寛光	松江市石屋古墳から出土した形象埴輪の塗彩緑色顔料	15
吉田 功	エヴァンゲリストの演奏法－J.S.バッハ＝マタイ受難曲より	21
小椋たみ子	初期言語発達と認知発達の関係についての文献展望	29
鯨岡 峻	コミュニケーションの成立過程における大人の役割 －乳児－母親および障害児－関与者のあいだにみられる 原初的コミュニケーション関係の構造	47
井上永幸	直接話法と発話の忠実な再現	61
<hr/>		
三保忠夫	雲州往来（明衡往来）についての一考察（二）	1
湯浅邦弘	孔子の夢と朱子学の夢論	15

中川政樹	政治参加と投票行動 —二つの国政選挙の場合・全国と島根県の比較をつうじて	29
------	---	----

第24巻—第2号（平成2年12月）

大西俊江・伊藤百合子・川島節子・斎藤 渉	不登校に関する臨床心理学的研究—臨床心理士のかかわった事例	1
三保忠夫	居延簡牘資料における量詞の考察	1
森下 弘	漢字仮名交じりの表記と書（再考）	27
福田景道	『増鏡』における過去と現在—「先例」の機能について	31
湯浅邦弘	『司馬法』に於ける支配原理の峻別	45

第 25 巻（平成3年12月）

吉名重美	二台のピアノによる実践教育について II	1
猪野郁子・大西俊江・西田政弘・伊藤百合子	不登校児の親への援助の試み	11
小椋たみ子・山下由紀恵・村瀬俊樹	初期言語インベントリ—信頼性の検討	17
中山正吉	愛媛県大洲市におけるスポーツ政策	33
中川政樹・小林 悟	地方議員の活動—島根県加茂町における調査研究	61
中川政樹・小林 悟	岡山県西部地域市町村議会議員の研究	75
木村東吉	宮沢賢治『曠原淑女』考	1
三保忠夫	中国古代墓葬出土簡牘資料における量詞の考察	15
福田景道	『増鏡』と両統問題	49
湯浅邦弘	『呂氏春秋』の義兵説—『墨』『司馬法』との対比	61

第 26 巻（平成4年12月）

中山正吉	愛媛県東宇和郡宇和町におけるスポーツ政策	1
猪野郁子・田中由紀子	両親像について	31
稲浪正充・小松原美和	色彩と感情について	39
小椋たみ子・村瀬俊樹・山下由紀恵	初期言語発達に関する調査（1）—幼児語から成人語へ	57
肥後功一	コミュニケーション障害の教育臨床的諸相（I）	65
大西俊江・伊藤俊子	施設収容児に関する臨床心理学的研究 —箱庭とプレイにあらわされた家族イメージ	75
堤 雅雄	想像的他者との心理的距離の関数としての羞恥感	87

高山草二	子どもの知能観と学習観	93
森下 弘	地球的共存と発展のための文字文化の伝承, 学習, 創造	103
土居万亀子・山田政美訳	ゲイル・M・ノムラ著「接ぎ木ーワシントン州に於ける 日系女性開拓民の歴史」	111
中川政樹・植田真理・岡田佐織	地方議員の研究 (I) ー島根県松江市および仁多郡における調査研究	123
鈴木岩弓	「流行神」の誕生と靈験譚ー横樋観音の場合	143
三浦 清・渡邊貞幸・平野芳英・本田光子	出雲市西谷3号墓に見られる朱の色調について	153
三浦 清・渡邊貞幸・平野芳英	出雲地方の弥生および古墳時代の遺跡から出土した碧玉について	167

木村東吉	資料と考察 宮沢賢治『春と修羅』第二集創作日付の日の気象状況	1
三保忠夫	トルファン墓葬出土文書における量詞の考察	87
福田景道	『増鏡』の予言記事をめぐって	103
湯浅邦弘	軍神の変容ー中国古代に於ける戦争論の展開と蚩尤像 (一)	115

第27巻ー第1号 (平成5年12月)

今村祥子	消費行動における情報が態度変容に及ぼす影響の発達の研究	1
稲浪正充・野口明紀	色彩と感情について (2)	10
小椋たみ子・山下由紀恵・村瀬俊樹・Dale, P.S	初期言語発達インベントリーからのいくつかの発見	27
高山草二	学級と個人の目標指向性が学習関連行動に及ぼす影響	39
中川政樹	地方議員の研究 (II)ー地方議員と地方自治	47
石野 眞	現展におけるデザイン制作	59

湯浅邦弘	軍神の変容ー中国古代に於ける戦争論の展開と蚩尤像 (二)	1
福田景道	歴史物語の範囲と系列 (上)	25
三保忠夫	近世の往来物・書札礼における助数詞について	35
木村東吉	作品番号欠落過程と《春と修羅 第三集》一九三一年構想	73

第27巻ー第2号 (平成6年3月)

三保忠夫	貝葉文書・典籍 (Palm Leaf Manuscript) について ー書写素材史研究序説	1
石野 眞	パウル・クレーの造形思考 II	13
高橋正訓	造形美術における金属工芸技法の考察	25
新井知生	現代日本絵画の一断面ーアクリル技法を通して	35
猪野郁子	幼児の生活に家族はどう関わっているか	49

木村東吉	《春と修羅 第三集》一九三一年構想「田園誌篇」試論	1
福田景道	歴史物語の範囲と系列（下）	17
猿田 量	平浜八幡宮『鷹図絵馬（一對）』に関する考察 －松平直政の奉納動機について	29

第 28 卷（平成6年12月）

猪野郁子・周藤紀子	家族の中の高齢者（1）－高齢者の家族観について	1
猪野郁子・堀江鈴子	両親像について（2）－大学生の捉える父親の現実像と理想像	9
山本眞一	家庭経営と雇用形態の変化－家族の役割機能を中心として	17
山本眞一・田中井敏勝	養護老人ホームにおける高齢者の生活と諸問題	27
稲浪正充・栗山智子・安部美恵子	色彩と感情について（3）	35
大西俊江・山下由利子・伊藤俊子・原 智子・林 光玉・足立富美子	養護施設児に対する心理学的援助	51
三保忠夫	スリランカにおける貝葉文書・典籍(Palm Leaf Manuscripts) の 作成方法について	61
<hr/>		
福田景道	歴史物語としての『梅松論』	1
木村東吉	時間の軸を遡ると－《春と修羅 第二集》「鳥の遷移」考	15
三保忠夫・福井千奈美・三保サト子	庭訓往来刊本についての基礎的研究	27
湯浅邦弘	類書と成語（三）－類書の変容と「出藍」の成立	71
島田隆輔	《文語詩双四聯》の成立	97

第 29 卷（平成7年12月）

三保忠夫・福井千奈美・三保サト子	庭訓往来刊本についての基礎的研究（補遺1）	1
藤井賢治	マーシャル経済学の経済主体－改善行為と「埋め込まれた習慣」	9
吉名重美	二台のピアノによる実践教育について III	17
猪野郁子・石川好恵	幼児の事故の実態と母親の安全意識	27
猪野郁子・久野美和子・松本律子	夫は妻の育児感情をどう認識しているか（第3報） －妻のゆとりと育児感情	33
大西俊江・津森葉子	学生相談にみられる青年期後期の心理的課題と援助 －女子学生の事例から	39
盧 相浩・鈴木文子（翻訳）	韓国伝統思想におけるソンビ精神	45

木村東吉	遊びの後に見たものは —《春と修羅 第二集》岩手山麓晩秋紀行詩群考	1
三保忠夫	居延新簡資料における量詞の考察	17
福田哲之	漢代『急就篇』残簡論考	37
中川政樹	1920年代のクローチェとファシズム	49

第 30 卷 (平成 8 年 1 2 月)

島畑 斉	J.S.バッハの『平均律クラヴィーア曲集 I』 —楽譜の比較考察について	1
手塚 実・武田千代美	高齢者に対する音楽療法プログラムに関する一考察	21
山田政美・田中芳文	現代アメリカ文化の中の固有名刺	37
大西俊江	学生相談における諸相	53
三保忠夫	17 世紀におけるスリランカの書記生活について —ロバート・ノックス著『セイロン島誌』	63
<hr/>		
木村東吉	月の山路に秘める心は—《春と修羅 第二集》外山紀行詩群考	1
福田景道	歴史物語の「大臣」(上)	21